

宇都宮市管工事業協同組合

新水道行政に期待

災害時体制充実、社会貢献を推進

宇都宮市管工事業協同組合(中村勝理事長)は26日、宇都宮市のホテルニューイタヤで2024年新春賀詞交歓会を開催した。船田元衆院議員、高橋克法参院議員、佐藤栄一市長、馬上剛市議会議長ら多くの来賓、組合員、協力企業から約100人が出席。命の水を守る組合の使命を再認識し、さらなる発展を誓った。

佐藤市長は「上水道、下水道とも老朽管の布設替え

が必要であり、皆さんの経験や知恵がますます必要になる。市の発展、市民の健康のために力をたまわりたい」、馬上議長は「市の安全安心の基盤づくりには皆さんの技術が必要。災害対応にも期待している」と祝

辞。第2陣、第3陣と続く

旧活動を称え、適正な価格や工期設定を促す法改正を通じた支援を表明。



佐藤市長



中村理事長



馬上議長



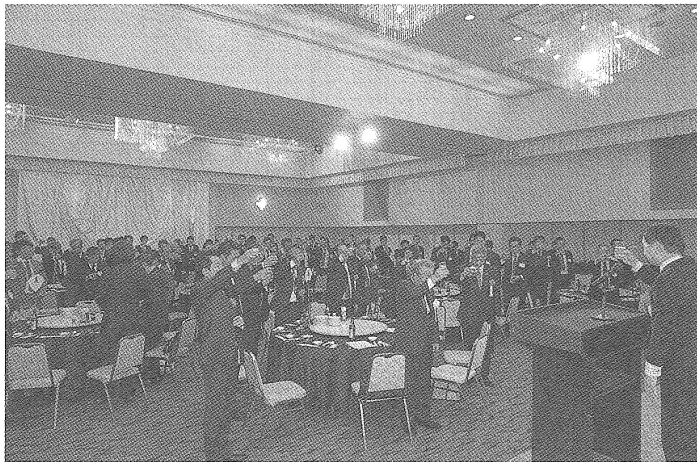
高橋参院議員



船田衆院議員

中村理事長は「水道行政が4月から国土交通省と環境省に移管される。上下水道が一体となる新体制に期待している。千支の竜は力強さの象徴。組合がますます発展繁栄することを願う。資材販売事業の推進はもとより災害時応援体制の充実、社会貢献に取り組んでいく」とあいさつした。船田議員は管工事がい

フラインと市民生活を守っており、高橋議員は健全な経営が国土と地域を守ることにつながることを強調。能登半島地震における組合の給水車派遣や配水管応急復



大竹上下水道事業管理者の発声で乾杯した

能登半島への支援にも期待を寄せた。

来賓にはこのほか熊本和夫市議会議員、和田均県管工事業協同組合連合会長、山崎良知県建築士事務所協会副会長、澤田守県設備設計事務所協会副会長、組合顧問の浅井達司浅井会計事務所長らが出席した。

大竹信久市上下水道事業管理者の発声で乾杯し、親睦を深めた。会では能登半島地震の犠牲者に黙とうが捧げられ、義援金募金も行われた。